

ラボナ錠 50mg

【この薬は？】

販売名	ラボナ錠 50mg RAVONA Tablets 50mg
一般名	日局 ペントバルビタールカルシウム Pentobarbital Calcium
含有量 (1錠中)	日局 ペントバルビタールカルシウム 50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、催眠鎮静剤で、バルビツール酸誘導体と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳が興奮している状態をしずめ、寝つきをよくしたり、不安や緊張をやわらげたりするはたらきがあります。
- ・次の目的で処方されます。
不眠症、不安緊張状態の鎮静
- ・次の目的で使用されます。
麻酔前投薬、持続睡眠療法における睡眠調節
- ・この薬は、体調が良くなったと自己判断して使用を中止したり量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
- ・過去にバルビツール酸系化合物（バルビツール酸誘導体）で過敏症のあった人
 - ・急性間歇性ポルフィリン症の人
 - ・ミトタン（オペプリム）を服薬中の人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
- ・心臓に障害のある人
 - ・呼吸機能の低下している人
 - ・衰弱している人
 - ・脳に器質障害のある人
 - ・アルコール中毒の人、薬物依存の傾向または既往歴のある人、重篤な神経症の人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬 [ミトタン製剤（オペプリム）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔不眠症の場合〕

1日量	1～2錠
飲む回数	寝る前に飲む

- ・この薬は寝るしたくをすませてから就寝の直前に飲むようにしてください。
- ・この薬を服用し、いったん寝たあと、短時間後にまた起きて、仕事などをする必要のあるときは飲まないでください。

〔麻酔前投薬の場合〕

1日量	2～4錠	2錠
飲む回数	手術前夜に飲む	手術前1～2時間に飲む

【不安緊張状態の鎮静の場合】

1日量	1～3錠
飲む回数	1日2～3回に分けて飲む

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

【不眠症、麻酔前投薬の場合】

決して2回分を一度に飲まないでください。

【不安緊張状態の鎮静の場合】

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

チェーン・ストークス呼吸（呼吸が浅くなったり深くなったりを繰り返す呼吸のみだれ）、瞳孔縮小（重度な中毒時には麻痺性の拡張）、乏尿（尿量が減る）、頻脈（めまい、動悸）、低血圧（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失）、体温低下（体温が下がる）、昏睡（意識の消失、刺激に全く反応しない）などの症状があらわれるおそれがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を続けて飲んでいると、薬をたくさん飲みたい、薬がないといられない気持ちになるなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで、あくび、くしゃみ、流涙、発汗、悪心、嘔吐、下痢、腹痛、散瞳、頭痛、不眠、不安、せん妄、痙攣、振戦、全身の筋肉・関節痛、呼吸促進、抑うつ状態等の離脱症状があらわれることがあるので、この薬を中止する場合には徐々に減少されます。この薬の飲む量や飲む期間については医師の指示に従ってください。
- ・自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- ・妊娠又は妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・アルコール飲料はこのくすりに影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson Syndrome) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソン シンドローム)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
薬物依存 やくぶついぞん	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、手足のふるえ、発汗、幻覚、不眠
離脱症状 りだつしょうじょう	脱力感、いらいら感、頭痛、吐き気、嘔吐、不眠、幻覚、幻聴（幻声）、けいれん発作

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、発汗、脱力感、けいれん発作
頭部	ある薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ない、不眠、いらいら感、頭痛、幻覚
眼	目の充血やただれ
耳	幻聴（幻声）
口や喉	唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐
手・足	手足のふるえ
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

【この薬の形は？】

P T Pシート	
形状	フィルムコーティング錠 
直径	7.0 mm
厚さ	3.3 mm
重さ	0.13 g
色	白色
識別コード	T A 1 2 3

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	日局 ペントバルビタールカルシウム
添加剤	エチルセルロース、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム、セルロース、二酸化ケイ素、ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール6000

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<https://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-753-280

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、会社休業日を除く）